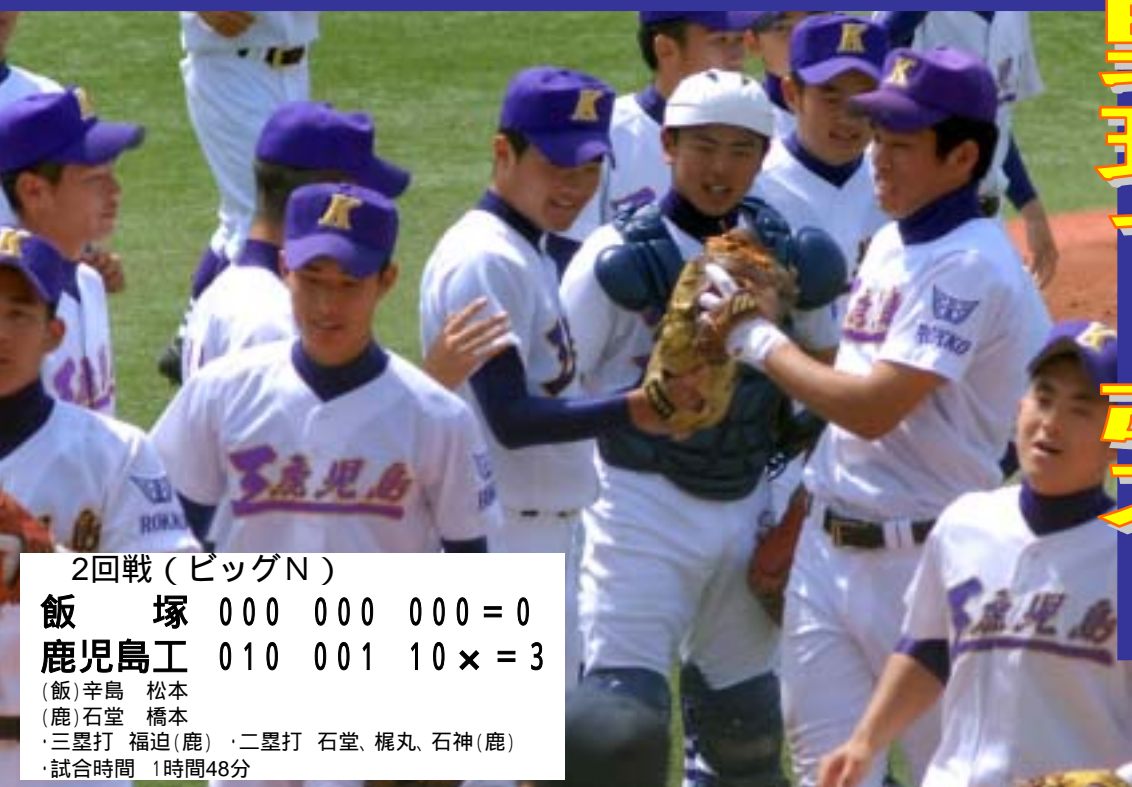


# 石堂、公式戦初完封！ 全員野球で8強へ

スポーツかごしま

号外



2回戦（ビッグN）

飯塚	000	000	000	= 0
鹿児島工	010	001	10x	= 3

(飯)辛島 松本  
 (鹿)石堂 橋本  
 ・三塁打 福迫(鹿) ・二塁打 石堂、梶丸、石神(鹿)  
 ・試合時間 1時間48分

## 「低めに投げれば打たれない」

投手を中心にした守りからリズムを作り、犠打を絡めた全員野球で点を取る。鹿児島工らしい野球で初戦突破した。

終わってみれば散発4安打完封と危ない内容だったが、気の抜けなし展開だった。一回につきないでやるという気持ちで打席に立った石堂達也の左中間一塁打で先制するも、五回まで毎回得点圏に走者を進めながら、バント失敗などでリズムに乗れず、飯塚の左腕辛島を略できなかった。打線が攻めあぐねた中で、中種子出身の左腕右堂の好投がチームに良いリズムをもたらした。ブルペンから変化球の切れが良かったので、変化球を低めに集める橋本和也のリードに導かれ、スライダークットボールカーブなどの変化球を両コーナーにきちんと投げわけて、最後まで相手打線に的を絞らせた。六回には石堂の打球が外野のミスを誘い、貴重な追加点を挙げると、七回には粘った四球で出た福迫雄治を三番 梶丸晃太郎がバントで送り、四番 中道優輔が左前打でつなぎ、内村尚弘の犠飛で駄目押した。

第122回九州地区高校野球大会第2日は4月20日、長崎市の県営野球場、市営かきこまり球場で2回戦5試合があり、鹿児島勢の鹿児島工、樟南がともに8強進出を決めた。飯塚 福岡(と)対戦した鹿児島工は、左腕 右堂達也が打撃にわたる活躍で4安打完封勝ち。樟南、鹿児島とも2季連続の8強入りを果たした。 政純一郎

最後の打者を一飛に打ち取ると、最高に気持ち良かった(石堂)公式戦初完封に諸手を挙げて拳を握った。

大黒柱の千入内村が、セパリの平安(京都)戦で延長十五回を投げた疲労などで本調子ではなかったが、石堂の成長は夏に向けてのチームのプラス材料だ。平安との再試合で取れたのは、先発完投した石堂は「低めに投げれば打たれない」と自らの投球に自信をつかんだ。捕手 橋本の成長も見逃せない。九回は先頭打者を四球で歩かせたが、すかさずマウンドに駆け寄り、1点をいから一つアウトを取ること声をかけた。送りバントはないと読み切り、続く四番をインハイの直球で右飛に仕留めた。橋本のリードに全て任せてます」と石堂も全幅の信頼を置く。平安戦で好投するも1点に泣いた経験を生かし、1球1球を大事にする「細心さ、かつ大胆な配球で最後までテンポ良く投げ抜き、チームに勝利をもたらした。

